

御所野学院中学校 校報

Fields of Dreams

令和6年度No.3
第109号

〒010-1413 秋田市御所野地蔵田四丁目1番1号

ホームページアドレス：<https://www.fureai-cloud.jp/akita-gsn-c>

令和6年12月20日

TEL：889-8330

FAX：826-0200

「エイジフレンドリータウンの実現に向けて」

教頭 渡邊 久人

この8月、パリオリンピック女子マラソンに秋田県出身の鈴木優花選手が出場しました。起伏のあるコース、石畳のコースや高温の天候と難易度の高いコースで、他の選手は数段速いスピードを持つ選手が多かったのに、自分のリズムを守り、一番困難だと思われる上り、下り坂で、果敢に攻める姿勢にはとても感動しました。鈴木選手の走りには「最後まであきらめず、挑戦し続けること」といった強い意志と持続の精神力を感じました。また、大会前「五輪で走る姿を通して元気を届けたい」といって出発した鈴木選手は、大会後に行われた地元大仙市の報告会で「皆さんの支援や応援が力になった」と地元の人たちへの感謝の気持ちを語っています。鈴木選手の活躍は地元全体を元気づけるものでありました。

さて、本校では「郷土学」という「地域社会と連携・協働した教育活動」の実践を行っています。1年生では「地域を学ぶ」のテーマのもと、地蔵田遺跡を題材に、地域の「自然・歴史・文化」について講話を聴いたり、直接体験したり、鷹巣の伊勢堂岳遺跡にも訪問するなどして学びを深めています。2年生になると、「地域で学ぶ」のテーマのもと、7月の職場体験学習では「地域の企業」の協力の中、働くことの意義や生き方を学んでいます。12月には「研究旅行」で首都圏の文化や地理、歴史に触れてきました。

3年生では「エイジフレンドリータウンの実現に向けて」のテーマのもと、地域に対する提言を行っています。そこでは、地域の方々と話し合う「座談会」に始まり、様々な企画・運営を行って実践につなげています。こうした3年間の取組は、本校の学校教育目標の一つである「愛郷心の高揚」につながっています。

実践の中の一つに「御所野マラソン」への協力がありました。イベントには「郷土学」で御所野地域を語ってくれる講師の多田正明さんも主催者の一人として参加しています。多田さんは、スロージョギングを推進する活動を行っている方でもあります。スロージョギングは、通常のジョギングよりゆっくりとしたペースで行うことで、膝や関節にやさしく、高齢者や運動が苦手な人も取組みやすいものです。この多田さんのスロージョギングの活動は、参加者の健康増進だけでなく、地域住民の交流や仲間づくりを支援しているものになっています。

こうした地域の活動とともに行う「郷土学」の取組は、地域住民に地元の魅力を再発見させ、地域外の人にもその価値を広めることにつながります。今後とも地域とのつながりを大切に、取り組んでいきたいと思っています。



学院祭 in Autumn

今年度は、9月6日（金）開祭式、7日（土）一般公開を行いました。

「久遠の輪～一瞬の繋がりを一生の繋がりに」のテーマのもと、各部門での企画・準備、当日の活動に取組みました。学院祭を通して、学院生同士、学院と地域との繋がりをより一層深め、御所野の魅力を再確認する機会となりました。



スローガン：1-4 佐々木 唯
1-3 浅野 寿輝
デザイン：2-1 畠山 結花



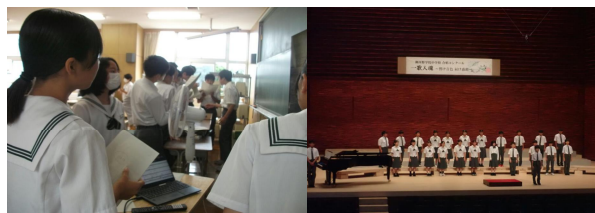
【食堂販売部門】



【閉祭式】

9月9日（月）に行われた合唱コンクールでは、各学級とも素晴らしい歌声を披露し、会場を感動に包みました。

学級で歌う合唱曲は、夏休み前に自分たちで決定し、そこから少しずつ練習が進められました。各学年、学級とも本番までの道のりは決して平坦ではなく、自分たちの理想とする合唱を目指して課題と向き合い、本番まで互いに切磋琢磨を繰り返しました。そのような日々の積み重ねがあったからこそ、ステージ上の適度な緊張感も、熱意をもって乗り越えることができたようです。そして、何とも言えない仲間との一体感を味わうことができたのではないのでしょうか。よい思い出になっただけでなく、今後の活動の糧にもなりました。



【練習の様子】

【ミルハスにて】



【結果発表】

【表彰式】

学院祭を終えて

26期生徒会長 3年2組 飯島 舞雪

今年の学院祭テーマは、世代を超えて繋がりを深めることを大切にして決定しました。私は開閉祭式部門員として、「繋がり」をキーワードにした校内企画を実施しました。全校生徒、そして地域の方々と協力して作り上げたパズルを閉祭式で披露した時の盛り上がりは、とても心に残りました。

テーマの通り、様々な場面で「繋がり」が見られ、たくさんの「笑顔」も見る事ができました。学年・学級の垣根を越えて一人一人が学院祭の成功に向けて頑張った準備期間。地域の方々と繋がりを感じた様々な場面や場所を感じることができた学院祭当日。笑顔で食券や商品を渡してくれた食堂販売部門。前日に遅くまで残って各学年の作品を展示した学年展示部門。地域の方と学院生と一緒に楽しむことができる企画を考えた地域交流企画部門。お客さんを笑顔で迎え、皆が安心して楽しめるよう努めた受付・巡回部門。全校生徒が楽しめるイベントの企画・運営をしたステージ部門。テーマを実現すべく工夫を凝らした劇、校内企画を考えた開閉祭式部門。そして、学院祭の締めくくりである合唱コンクールをスムーズに進行した合唱コンクール部門。全員の力が集結し大成功を収めることができました。最高の思い出をありがとうございました！

合唱コンクールを振り返って

部門長 3年1組 菊地 寛三郎

私たち合唱コンクール部門員は、合唱コンクール通信の発行や抽選会を実施したり、当日のスムーズな司会進行を目指して練習をしたりして準備してきました。3年生を中心にアナウンスの仕方やステージ上での動きを何度も確認し、全員がそれぞれの役割を果たすために頑張りました。また、アナウンスや表彰などの表の役割の他にも、ひな壇の設置や撤去などの裏方の仕事も担当し、スムーズに行うことができました。

合唱練習の期間はどの学年、学級も熱心で、日に日に良い合唱になっていくのを実感しました。特に今年の会場“ミルハス”は新しく大きな施設だということもあり、昨年以上に熱量を上げていたように見えました。

そして当日は、会場いっぱいに最高の歌声を響かせることができました。スローガンである「一歌入魂～響け音色、届け感動～」を目標に、各学級の一人一人が優秀賞を目指して頑張った結果だと思います。会場みなさんに感動の歌声を届けることができた最高の合唱コンクールとなりました。

後学期の生徒会活動より

26期生徒会から、2年生が中心の新執行部になりました。「大樹～地域へと根を広げ立派に育つ学院中～」のスローガンのもと、地域との結び付きを広げ、深めることを意識して活動しています。先日行われた御所野地区クリーン＆グリーン活動では、地域の方々と共に御所野地区の清掃活動を行いました。また、秋田市少年指導センターの方々と共に行ったあいさつ運動には60人以上の生徒が参加しました。1円玉募金や赤い羽根共同募金など、身近でできるボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。今後も学院中生が一丸となって積極的に活動していきます。



【あいさつ運動】

【募金活動】

27期生徒会長 2年2組 伊藤 心和

これまで学院中を引っ張ってくれた26期生徒会からバトンを受け取り、新体制となってスタートを切りました。27期生徒会では、地域との関わりを大切にし、一人一人が成長する学院中生を目指すことを基本方針としました。学院中生が渾然一体となり、地域との関わりを更に深められるよう、生徒会執行部の仲間と共に協力して活動していきます。

27期生徒会も、ご支援よろしくお願ひいたします。



【後学期任命式：27期生徒会執行部】

【中学生サミット】

秋田市の中学校の生徒会役員が集い、意見や情報を交換する中学生サミットに、飯島舞雪（3年 前生徒会長）と伊藤心和（2年 現生徒会長）が参加しました。

デジタルシティズンシップ（デジタルネイティブ世代と言われる生徒のデジタル機器との付き合い方をまとめたもの）を広げるための各校の取組について情報交換しました。また、秋田市をよりよくするためのブラッシュアッププロジェクトでは、御所野学院中の郷土学の取組を紹介しました。各学校のリーダーと意見を交えることができ、刺激を受けました。この貴重な経験は、生徒会通信を通して全校生徒へ伝え、今後の生徒会活動に生かしていきます。



【サミットでの発表】

地域企業ガイダンス ～1・2年生～

秋田県地域振興局で企画している「地域企業ガイダンス」を実施しました。「医療・福祉関係」「製造業」「建設業」「卸売・小売業」「運輸業」「警備業」「人材派遣業」など、7職種全15の地元企業が参加してくれました。生徒はこの中の3つの企業ブースを訪問し、説明を受けました。

地元企業のことや仕事内容を知るだけでなく、地元で働くことの魅力ややりがいについて学ぶ機会となりました。また、自分の将来についての考えを深めることもできました。



【警備業】



【建設業】



【介護用品レンタル販売業】



【車販売業】

郷土学への取組 ～1年生～

1年生の郷土学では、「地域の資源を生かして、その保存や継承に携わる人々の努力や工夫を学ぼう」をテーマに、地域と協働して「地蔵田遺跡」を広める活動に取り組みました。何度も地蔵田遺跡に足を運び、遺跡の保存・継承の取組について学んだり、伊勢堂岱遺跡を訪問した際には、地蔵田遺跡と比較しながら、それぞれの地域で行われている遺跡PRの取組について学んだりしました。

秋にはこれらの学習を活かして、『弥生っこ村体験イベント』の企画・運営に関わることができました。地域の大切な財産である遺跡を守り続けていくために、地域住民がどんな思いでどんな努力をしているのかを、身をもって体験する絶好の機会となりました。ご協力いただいた秋田市や村民会の方々には、本当に感謝しています。

【生徒の振り返りより】

1組 小玉 秀吉

日本初の木柵で囲まれた集落という特別な遺跡がこの御所野にあるということの一つの誇りとして、地域の方々に地蔵田遺跡の魅力を伝えられたことがうれしかった。地蔵田遺跡を後世に長く残せるよう、今後も「地域の遺跡を地域で・みんなで守る」取組をしていきたい。



【受付：運営 Staff】



【史跡ガイド】



【火おこし】



【紙芝居】



【拓本づくり】



【地蔵田クイズ】

郷土学への取組 ～3年生～

3年生の郷土学では、エイジフレンドリータウンの実現に向け、中学生の意見を取り入れながら地域住民との協働による事業を企画し、実践するという学習を行いました。夏まつりや御所野マラソンなどの行事の運営に携わったり、地域の美化のためにゴミ拾いや花壇の整備を行ったり、地域住民との交流会や「親子deお楽しみ会」を企画したり、それらの取組をホームページやポスターで紹介したりしました。実施後は、成果と課題を検証して新聞にまとめ、座談会でアドバイスくださった地域の方をお招きし、発表会を行いました。



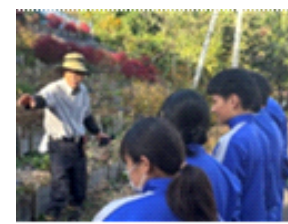
【夏まつり】



【仮装マラソン】



【スロージョギング】



【草取リーダーズ】



【ごしょので語ろう】



【親子deお楽しみ会】

【生徒の振り返りより】

1組 鈴木 大心

世代を超えた交流は正直難しいのではないかと考えていた。だが、年齢の異なる方たちと交流したからこそその学びがあると実感した。ためになる話が多く、今後の人生に役立てていきたいと思った。

2組 小暮玲緒奈

子育て支援は、子供のことをよく考えて企画することが最も大変だった。しかし、親子をサポートすることはとてもやりがいのある活動だと実感した。

表現科発表会

中高連携教育プログラムとして位置づけている「表現科」は、社会人講師の方々のご指導の下、のびのびと自己表現できる生徒の育成を目指し取り組んでいます。11月2日（土）、その成果を「表現科発表会」で披露しました。

当日は、素晴らしいパフォーマンスや展示が行われ、参観者の皆様からも大変好評をいただきました。皆様の温かいご支援とご声援が、生徒のモチベーションを高め、素晴らしい成果を生み出したことに感謝申し上げます。

生徒からは、全ての講座のクオリティーが高いことに加え、観衆を魅了した発表が多く、来年の発表会が楽しみになったという感想が多くありました。

社会人講師の先生からは、「本番が一番いい笑顔で、それぞれが自分を表現できた。観客の皆さんの拍手、声援もたくさんで温かい雰囲気できたことを、嬉しく思う。」との感想をいただきました。



【フラダンス】



【書 芸】



【伝統音楽（箏）】



【演 劇】



【茶 道】



【リズムダンス】

《祝 地域文化功労者表彰 ～足達清賀先生～》

表現科が開設されて以来、伝統音楽（箏）講座を担当してくださっている足達清賀先生が、国の地域文化功労者の表彰を受けられました。

長年にわたって研鑽を積み、本県邦楽界の発展に貢献したことが高く評価されました。この度の表彰、おめでとうございます。

御所野学院中生の活躍

全日本吹奏楽コンクール秋田県大会

○中学校大編成の部 銀 賞

全日本中学校通信陸上競技秋田県大会

男子陸上競技

○共通200m	石井 颯	第1位
○共通走幅跳	都築 飛色	第4位
○2年100m	都築 飛色	第8位

女子陸上競技

○共通走高跳	飯島 舞雪	第2位
○共通800m	小松 芽衣	第6位
○共通1500m	小松 芽衣	第8位
○2年100m	今野 桔菜	第1位
○共通4×100mR	中島 琳 成田楓乃夏	第2位
	今野 桔菜 石川ゆきの	第7位
○低学年4×100mR	小柳 美咲 佐々木陽菜	
	莊司 絢芽 縄田屋璃子	

東北中学校体育大会

男子陸上競技

○共通200m 石井 颯 第8位

市中学校総合体育大会

駅伝

○男子 第7位
○女子 優勝
小松 芽衣 1区区間賞

県中学校総合体育大会

駅伝

○女子 第8位

市中学校秋季体育大会

すべての団体結果と個人6位入賞まで

野 球 1回戦 5-7 秋田東中

男子ソフトテニス

○団体	2回戦	3-0	秋大附中	優 勝
	準決勝	2-1	城 東 中	
	決 勝	2-1	土 崎 中	
○個人		本戸 奎汰・齋藤 歩仁	ペア	
				第3位

女子ソフトテニス
○団体 1回戦 1-2 城 東 中
男子バスケットボール
1回戦 35-69 秋田西中
女子バスケットボール
2回戦 9-84 秋田北中
サッカー
1回戦 0-1 城 南 中

新体操
○団体競技 優 勝
第2位 第2位
○個人 総合 児玉みちる 第2位
○個人フープ 児玉みちる 第2位
○個人リボン 児玉みちる 第2位

男子陸上競技 総合 第3位
○共通棒高跳 遠藤 創 第1位
○共通走幅跳 都築 飛色 第2位
○共通200m 都築 飛色 第3位
○共通800m 豊島 寿尚 第4位
加藤 嬉有 第5位
吉田 徠生 第5位
○共通110mH 齊藤 瑛太 第5位
○共通砲丸投 齊藤 瑛太 第5位

女子陸上競技 総合 第1位
○2年100m 今野 桔菜 第1位
石川ゆきの 第1位
中島 琳 第3位
○1年100m 佐々木陽菜 第4位
莊司 絢芽 第5位
○共通200m 今野 桔菜 第6位
石川ゆきの 第2位
中島 琳 第3位
○共通砲丸投 佐藤 環奈 第4位
○共通4×100mR 佐藤 環奈 第3位
中島 琳 第1位
今野 桔菜 第1位
莊司 絢芽 第2位
○1年1500m 石川ゆきの 第1位
佐々木陽菜 第2位
☆男女総合 第2位

駅伝
○男子 第5位
○女子 第3位

県中学校秋季体育大会

男子陸上競技
○共通走幅跳 都築 飛色 第2位

女子陸上競技
○共通200m 今野 桔菜 第2位

新体操
○団体競技 優 勝
第2位 第2位
○個人総合 児玉みちる 第3位
佐藤 莉子 第3位
○個人フープ 児玉みちる 第2位
佐藤 莉子 第2位
○個人リボン 児玉みちる 第2位
佐藤 莉子 第3位

男子ソフトテニス
○団体 2回戦 1-2 美 郷 中
○個人 本戸 奎汰・齋藤 歩仁 ペア
バドミントン
○男子個人 中杉 涼都 ベスト8

市民スポーツ祭水泳競技大会

○100m自由形 南城 良徳 第1位
○50m背泳ぎ 南城 良徳 第2位
○50m自由形 南城 良徳 第3位
○100m平泳ぎ 杉田 皓星 第4位
○4×50mフリーR 南城 良徳 杉田 皓星 第2位
○4×50mメドレーR 南城 良徳 杉田 皓星 第2位

秋田市児童生徒作品展覧会

○美術科部門 榎木 慶斗 入 選
藤田 琉花 入 選

児童生徒作品コンクール

○図画・絵画部門 佐藤 絢菜 入 選

平和中学校招待男子ソフトテニス大会

○団体 優 勝

秋田市中学校ソフトテニス1年生大会

○男子個人 鈴木奏愛・三浦将ペア 第3位

東北UJボクシング大会

○中学男子 工藤 晴喜 第1位

全県席書会郡市大会

○半紙の部 佐々木果凜 銅 賞
○条幅の部 佐々木果凜 銅 賞

東北総合スポーツ大会ライフル射撃競技会

○BP60WJ 山中 莉奈 第3位

ヤマハエレクトーンフェスティバル2024 北東北地区大会

○ソロ演奏部門 リード・ジョシュア 金 賞

秋田市体育連盟 栄光賞

陸上競技
○共通200m 石井 颯 雪松 拓人
○共通4×100mR 石井 颯 小田島 駿
奥山 智巳
都築 飛色